1985年5月25日第三種郵便物認可　2014年6月1日発行（毎月1回1日発行）通巻536号

福祉のひろば

特集

高齢期のひとり暮らしを豊かにするために

6
2014

ひろばトーク　世（ヨ）　汝単（ナタン）さん

『ニポ１―古代』『ニポ２―近代』（障害者の歴史）をなぜ書いたのか

編集　総合社会福祉研究所

住む人・使う人が主人公！

私たちは住む人・使う人の
立場に立って設計しています。
お気軽にご相談下さい。

京都建築事務所

〒　604－8083
京都市中京区三条柳馬場東入中之町１０
代表取締役社長　　川下　晃正
ＴＥＬ　（０７５）２１１－７２７７
ＦＡＸ　（０７５）２１１－７２７０
http://www.kyoto-archi.co.jp/

総合社会福祉研究

第43号 まもなく発刊
本体2000円（税・送料別）
当研究所会員は割引あり

テーマ：「税と社会保障の一体改革」の歪みとそれを正す力

年　　報

「税と社会保障の一体改革」の歪みとそれを正す力 …… 石倉康次
政府統計からみた国民生活の動向 …… 志藤修史・安井喜行・藤井伸生

キーワード

孤立死・孤独死　新井康友／待機児　小堀智恵子／障害のある人たちの高齢化（65 歳）問題　上田孝／健康権（健康に対する権利）棟居徳子／サービス付き高齢者向け住宅　鶴田禎人／介護保険「2015 年制度改定」における軽度者はずし　望月みはる／生活扶助相当 CPI　山田壮志郎 ／ワークフェア、日本における動向と現実性　井口克郎

海外の政策動向

アメリカにおける公的扶助の政策課題
――TANF の利用実態と就労インセンティブ政策の問題―― …… 木下武徳 ほか。

総合社会福祉研究所　〒543−0055　大阪市天王寺区悲田院町8−12
TEL06（6779）4894　FAX06（6779）4895
ホームページ　http://www.sosyaken.jp/　E-mail:mail@sosyaken.jp

65歳問題で、訴訟に踏み切った浅田達雄さん

達雄さんの日頃の生活をうかがいに、中島素美が岡山の自宅を訪ねました。この４月から福祉のひろばの編集にかかわり、初の取材です。

床は電動車いすが動きやすいように洋式に改修。ふるい市営住宅なので、トイレや台所、風呂などへの間口の広さや段差は改修できず、狭いまま。達雄さん自身、車いすの細かい操作がむずかしくなってきて、室内で動くのが危険なこともあります。でも、「死ぬまでここに住みたい」というのが、達雄さんのねがいです。

達雄さんは最近、咀嚼（そしゃく）力が落ち、食事中もむせることが増えています。ヘルパーは、達雄さんが登録している小規模多機能型居宅介護から来ています。「時間があれば、食事ももっといろいろ作れるけど、私が帰るまでに作って、食べてもらって、歯みがきして、トイレにも行かないといけないし……。時間いとわにゃ、ゆっくりしたらええんやけど……」と話す間も、手は休みなく動いています。

達雄さんは、毎日パソコンを駆使し、たくさんの人とメールでつながり、いろいろな情報をえて、講演会や訴訟を支援する会の資料もつくります。パソコンによる社会とのつながりが、達雄さんの生活の幅を広げています。

障害者が65歳になると、介護保険が適用され、障害者福祉サービスの利用が制限されます。この介護保険優先原則に異議を申し立て、全国で初めて訴訟に踏み切った達雄さんに、具体的な生活への影響についてお聞きし、今号トピックスに記事を掲載しています。

（文・写真　中島素美）

※グラビア１ページ目の写真は、拡大しているため、若干画質が粗くなっています。ご了承ください。

福祉のひろば
2014年6月号

【ひろばトーク】
『ニポ１―古代』『ニポ２―近代』（障害者の歴史）をなぜ書いたのか　世　汝単　6

●特集●　高齢期のひとり暮らしを豊かにするために
沖縄県宮古島市におけるひとり暮らし高齢者の生活と意識に関する調査結果から　板倉　香子　10
【報告１】地域包括支援センターは市民の重要な相談窓口　根間　京子　18
【報告２】地域は地域で支える、地域で高齢者を見守る体制を作りたい　砂川　榮　20
【報告３】小地域を基礎にした地域福祉活動　下地　信広　22
【まとめ】高齢期の豊かさをどう考えるか　河合　克義　27

●トピックス●
介護保険優先原則は認められない
――訴訟に踏み切った浅田達雄さんに聞く　30
社会福祉現場５年目職員調査研究、スタートします！　38
これからの社会保障を考える学習会　続　昌司　42
若手、がんばってます！　――「真田是著作集」を学ぶ会――　44
社会福祉施設経営者同友会・管理職養成学校第一期修了をふりかえる　46

●連載●
フォーラム
今につながる昔の話　上坪　陽　56
あれから３年……釜石・東日本大震災を記録する会代表
三、“傾聴ボランティア”に徹し、津波体験を記録　前川　慧一　58
相談室の窓から　なの花作業所（２）　青木　道忠　60
わらじ医者　早川一光の「よろず診療所日誌」　早川　一光　62
育つ風景
「進級」って子どもにとってはどんな出来事？　清水　玲子　64
いっぽいっぽの挑戦（15）
地域生活というけれど……　繁澤　多美　66
映画案内　『春を背負って』　吉村　英夫　68
現代の貧困を訪ねて
大阪市で生活保護行政問題全国調査団結成　生田　武志　70
なにわ銭湯見聞録（拾四）　ラッキー植松　72
いただきます！
お財布にやさしい！　カリッカリのチキン南蛮　高鷲学園　74
ホームレスから日本を見れば　ありむら潜　76
花咲け！男やもめ　川口モトコ　77

みんなのポスト　54／今月の本棚　53／福祉の動き　78
●グラビア●　65歳問題で、訴訟に踏み切った浅田達雄さん

●表紙の絵●
神門やす子

●カット●
川本　浩

ひろば トーク

『ニポ1―古代』『ニポ2―近代』（障害者の歴史）をなぜ書いたのか

世（ヨ）　汝単（ナタン）さん

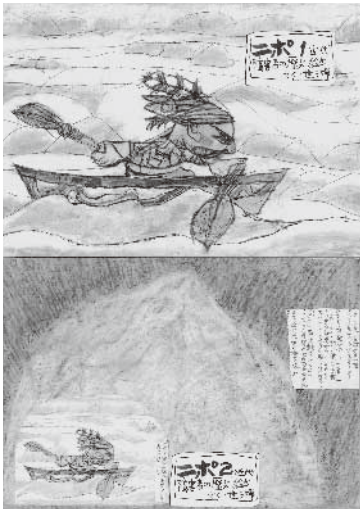
私はガンなどたくさんの病気をして、五つの病院に長期入院していました。そのたびに、ドクター、ナース、地域連携室、事務の方、給食や掃除をしてくれる方など、一つの病院でも何十人もの人々のお世話になりました。退職後七年目の二〇一〇年には、ＩＣＵ（集中治療室）に入院する事態にもなり、九死に一生をえたものの、からだとことばの自由を失ってしまいました。それでも、リハビリにより少しずつ回復がみられています。転院先、自宅療養でのデイ・ケアやショートステイでもたくさんの方にお世話になり、歩行器で歩いたり車いすで外出もでき、字もなんとか書けるようになりました。

今、身体機能は三歳半くらいになり、片言でしゃべる練習もしています。

ざっと数えてみたのですが、四人のスピーチセラピスト、二人の理学療法士、五人の作業療法士、四人のケアマネジャー、一〇〇人以上のナース、四〇人以上の介護福祉士、その他多くの方に守られて、何とか生きながらえてこられたのです。

現役時代、私は中学校、養護学校（今は特別支援学校になっていますが）に勤めていました。そこで、いろいろな障がいのある子どもたちと親御さんから、自分の知り得る大切なことの多くを学ばせていただきました。

ある養護学校で、十数年前に「障害者の歴史」について一時間半ほどお話しする機会



ヨ　ナタン

中学校、養護学校で障がい児教育に携わり退職。その後、病気、手術のため障がい者となり三年あまりを過ごす。

左の写真は絵本の表紙です。

があったのですが、自分の力不足もあり、どうも自分の中ですっきりしなかったことがありました。

その後、『「障害者」を生きる――イギリス二十世紀の生活記録』（スティーヴ・ハンフリーズ、パメラ・ゴードン著、青弓社（せいきゅう））が出版され、これをみんなに読んでほしいと思いました。しかし、この厚い本を読む人は何人いるだろうかと考えたとき、不完全でも絵の入った、もっと手に取りやすい形の絵本にしてみようと思い立ったのです。

この二年ほど、朝から寝るまで絵か字を書いています。今の私にはしゃべることはできないので、原発、基地、戦争などのない世の中にするためには、それしかないと思ったのです。身近な人たちに見てもらえればいいかなと思って書きました。

孫たちに向けて書いた絵本「くじらはベーリング海をめざす」「こ〇（コマル）」「コタンの兄弟」は各五〇部つくりました。今度の「ニポ1」「ニポ2」は各一〇〇部ずつしかつくれませんでしたが、これから歴史を学んで立ち上がってくれる若い人がきっといることでしょう。障がいを受けた私たちと、それを守ってくれている働く多くの人たちのために。

高齢期のひとり暮らしを豊かにするために

沖縄県宮古島市におけるひとり暮らし高齢者の調査結果から明らかになったこと

少子高齢化が進む離島地域における高齢者の実態

社会福祉法人宮古島市社会福祉協議会（以下、市社協）が昨年、市内のひとり暮らし高齢者を対象に全数調査を実施しました。この調査の実施主体は市社協ですが、調査の設計は、明治学院大学社会学部付属研究所の研究プロジェクト「離島の高齢者生活と住民福祉活動のあり方に関する研究」班（研究代表・河合克義）が共同でおこないました。市社協が三月一〇日にその調査結果をふまえ開催したシンポジウムに参加して、紹介することにしました。二〇一二年七月号で、都市部の東京都港区におけるひとり暮らし高齢者の全数調査と、その結果からあらたな政策として実施された、ふれあい相談員の取り組みを紹介しました。今回は、離島地域におけるひとり暮らし高齢者の生活実態調査です。

沖縄県宮古島市は、二〇〇五年に旧平良（ひらら）市、城辺町（ぐすくべちょう）、下地町（しもじちょう）、伊良部町（いらぶちょう）、上野村（うえのそん）の五市町村の合併によりできました。宮古島市は、沖縄本島から南西約三〇〇キロの距離に位置し、宮古島、池間島（いけま）、大神島（おおがみ）、伊良部島、下地島、来間島（くりま）の大小六つの島で構成されており、もっとも大きい宮古島が市の総面積の約八割を占めています。

宮古島市の人口は、二〇一四年三月末現在、五万四二九〇人。二〇一〇年の国勢調査では、一九九五年と比較